



当市における 外国人の現状は

伊崎 博幸（無所属）



Q 当市において、外国人雇用の上限人数は定めているか。

A 自治体が独自に雇用者数の上限を設ける制度等はない。

Q 国民健康保険税の収納率はどうか。

A 令和6年度現年分の実績は、世帯主が外国人である場合の収納率は97・45%、全体の収納率は96・58%となっており、外国人が世帯主である方が、全体の数値を若干上回っている。

Q 外国人世帯と日本人世帯の生活保護受給率はどうか。

A 9月1日現在、日本人のみで構成する世帯数7万5,703世帯に対し、生活保護受給世帯は1009世帯、受給率は1・3%である。一方で外国人を含む世帯数2124世帯に対し、生活保護受給世帯は25世帯、受給率は1・2%である。

南葉高原キャンプ場につながる林道の安全は

Q 南葉高原キャンプ場につながる林道のガードレールなどの安全施設について、現状をどのように認識しているか。

A 一部の区間において、老朽化と雪の重みにより、支柱の傾きのほか、ケールぶのたるみや断裂があることを確認しており、優先順位を定めて、順次に維持補修を実施している。



アニバーサリーイヤー 取組の成果は

大島 美香（久比岐野）



Q アニバーサリーイヤーの取組について、観桜会・謙信公祭・上越まつりにおける入込数や経済効果はどうか。

A 観桜会は52万5,000人、上越まつりは24万3,000人、謙信公祭は9万7,000人といずれも前年を上回り、市外からの来訪も増加した。物産や宿泊の売上が好調との声があり、地域経済に効果があった。

Q 未来づくり補助金の実績と今後の方向性を聞きたい。

A 13件を採択し、本町商店街での市民参加型イベントなど、多様な取組が行われた。制度を継続する予定はないが、新たな担い手の拡大や将来への広がり意義があったと考える。

高田城址公園観蓮会の成果は

Q 第46回観蓮会の来場者数と情報発信の効果、商店街との連携やクーポン活用による回遊性向上の効果、熱中症対策について聞きたい。

A 来場者数は10万1,000人で、上越観光Naviの閲覧数は2万4,243件となった。アフタヌーンティーや乗馬体験が好評で、商店街イベントとの連携も一定の回遊効果があった。熱中症対策では、お休み処や涼み処を設置し、給水や休憩に訪れる姿が多く見受けられた。今後も実行委員会と連携して、対応していく。



包括的性教育で 正しい知識を！

ストラットン恵美子（久比岐野）



Q 当市の性教育の現状と課題を聞きたい。

A 学習指導要領に基づき、人権教育に配慮しながら発達段階に応じて指導しているが、専門性を有しない担任等が資料の選定や授業の工夫に努めなければならないことが課題である。

Q 教職員等に対する研修や教育の機会を積極的に設ける考えはないか。

A 産婦人科医等の専門家による研修を検討するなど、知識や理解を深める取組を行う。

Q 幼児期の性教育の必要性をどう考えるか。

A 幼児期は子どものウェルビーイングの醸成に大切な時期であり、発達段階に応じた自分と相手の体を大切にする指導など、幅広い側面から性教育を推進する。

Q こども家庭庁が進めている、妊娠前からの心身の健康を整える取組である「プレコンセプションケア推進5か年計画」に基づく当市の取組はどうか。

A 関係機関と連携し、性の正しい知識やプレコンセプションケアを広く周知する取組を行う。

安心安全を脅かす盗難から公共物を守る！

Q グレーチング蓋の盗難抑止対策を聞きたい。

A 重いコンクリート蓋を使用したり、市名を刻印した盗難防止金具を取り付ける。

